

みどりのネットワーク化を進め、さらに市民・企業・行政等の協働で札幌のみどりを守り、育てます。

みどり

札幌のみどりのさらなる充実により都市の魅力を高めます。

これまでの公園や緑地の整備により札幌のみどりの総量は一定の水準に達しています。しかし、都市化の進展に伴って、市街地周辺、市街地内のみどりは減少しており、郊外に比べ、既成市街地のみどりが少ないなど地域格差も見られます。さらに、地球環境問題や生物多様性の確保といった面からもみどりの役割に対する期待と認識は高まっています。今後は、残されたみどりを守ることとはもとより、都市づくりのさまざまな場面において、市民との協働により新たなみどりを創出していくことも重要です。

基本方針

みどりの配置

均衡のとれたみどりの街並み形成やみどりのネットワーク化を進めます。

- 核となる貴重なみどりの存在や全市的な均衡に配慮しながら、大規模な公園や緑地などのみどりの拠点を配置し、都心部には札幌の顔にふさわしい緑を創出します。
- 丘陵や山並み、農地、河川のみどりとこれに連なる新たな緑地空間を創出することで、市街地をみどりで取り囲みます。
- まちを囲むみどりや拠点となるみどりを相互にネットワーク化します。

みどりの質的充実

市民、企業、行政などの協働によりみどりを充実し、さらにいまあるみどりを保全・育成し、次代に継承します。

- 量だけではなく、機能分担や相互連携、景観形成、都市と自然の共生、生物多様性の確保などの観点にも配慮し、多様なみどりを創出します。
- 市街地における建物更新などの動向と連動しながら、市街地内できめ細かなみどりを効果的に創出します。
- 大規模な公園から住宅の庭に至るまで、また施設の計画から管理まで、様々な場面で総合的に緑化を進めるため、協働型の取り組みを充実していきます。



※オープンスペース・コリドー：コリドーの本来の意味は「廊下」回廊」など。

本計画では、市街地を貫通し、都心にうろおいをもたらすオープンスペースの軸となることを目指すものとしてコリドーと称している。